

(公営企業会計決算)

1. 平成 27 年に総務省が調査した「平成 26 年度地方公営企業決算状況調査」を基礎に編集したものである。
2. 平成 27 年 3 月 31 日現在における決算状況である。

3. 用語の説明

(1) 固定資産構成比率(%) = 
$$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$$

(2) 固定負債構成比率(%) = 
$$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$$

(3) 自己資本構成比率(%) = 
$$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$$

(4) 固定資産対長期資本比率(%) = 
$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$$

(5) 固定比率(%) = 
$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$$

(6) 流動比率(%) = 
$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

(7) 当座比率(%) = 
$$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$$
  
(酸性試験比率)

(8) 現金比率(%) = 
$$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$$

(9) 自己資本回転率(回) = 
$$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}}{2}}$$

自己資本 = 資本金 + 剰余金 + 評価差額等 + 繰延収益  
※ただし、平成 26 年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの

(10) 固定資産回転率(回) = 
$$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}}{2}}$$

※ただし、平成 26 年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの

(11) 減価償却率(%) = 
$$\frac{\text{当年度減価償却額}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却額}} \times 100$$

(12) 流動資産回転率(回) = 
$$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}}{2}}$$

※ただし、平成 26 年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したもの

$$(13) \text{ 未 収 金 回 転 率(回)} = \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首未収金}+\text{期末未収金}}{2}}$$

※ただし、平成 26 年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したのもの

$$(14) \text{ 総 資 本 利 益 率(\%)} = \frac{\text{当年度経常利益}}{\frac{\text{期首総資本}+\text{期末総資本}}{2}} \times 100$$

総資本=資本+負債

※ただし、平成 26 年度に限り、期首とは会計基準の見直しに伴う移行仕訳したのもの

$$(15) \text{ 総 収 支 比 率 (\%)} = \frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}} \times 100$$

$$(16) \text{ 経 常 収 支 比 率(\%)} = \frac{\text{経 常 収 益}}{\text{経 常 費 用}} \times 100$$

$$(17) \text{ 営 業 収 支 比 率(\%)} = \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$$

$$(18) \text{ 利 子 負 担 率 (\%)} = \frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{建設改良の財源に充てるための企業債・長期借入金}+\text{その他の企業債・長期借入金}+\text{一時借入金}+\text{リース債務}} \times 100$$

$$(19) \text{ 企 業 債 元 金 償 還 金 対 減 価 償 却 額 比 率 (\%)} = \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$$

$$(20) \text{ 企 業 債 元 金 償 還 金 対 料 金 収 入 比 率 (\%)} = \frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$$

$$(21) \text{ 企 業 債 利 息 対 料 金 収 入 比 率 (\%)} = \frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$$

$$(22) \text{ 企 業 債 元 利 償 還 金 対 料 金 収 入 比 率 (\%)} = \frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$$

$$(23) \text{ 職 員 給 与 費 対 料 金 収 入 比 率 (\%)} = \frac{\text{職員給与費 (特別損失のうちの職員給与費含む)}}{\text{料 金 収 入}} \times 100$$

$$(24) \text{ 職 員 一 人 当 た り 営 業 収 益} = \frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$$

$$(25) \text{ 職 員 一 人 当 た り 有 形 固 定 資 産} = \frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数}+\text{資本勘定所属職員数}}$$

$$(26) \text{ 経 常 損 失 比 率(\%)} = \frac{\text{経 常 損 失}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$$

$$(27) \text{ 累 積 欠 損 金 比 率 (\%)} = \frac{\text{累 積 欠 損 金}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$$

$$(28) \text{ 不良債務比率}(\%) = \frac{\begin{array}{l} \text{(流動負債－建設改良費等の財源に充てた企業債・長期借入金} \\ \text{－PFI法に基づく事業に係る建設事業費等のリース債務)} \\ \text{－(流動資産－翌年度繰越財源)} \end{array}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$$

(29) 料金単価 (法適用企業)

$$a \text{ 水道} : \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$

$$b \text{ 工業用水道} : \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量 (計量分)}}$$

$$c \text{ 交通 (バス)} : \frac{\text{自動車運送事業経常収益}}{\text{自動車運送事業 (乗合+貸切) 年間走行Km}}$$

$$d \text{ ガス} : \frac{\text{料金収入}}{\text{販売量}}$$

$$e \text{ 下水道} : \frac{\text{料金収入}}{\text{有収水量}}$$

(30) 供給原価 (法適用企業)

$$a \text{ 水道} : \frac{\text{経常費用－長期前受金戻入－(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)}}{\text{年間総有収水量}}$$

$$b \text{ 工業用水道} : \frac{\text{経常費用－長期前受金戻入－(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)}}{\text{年間総有収水量 (計量分)}}$$

$$c \text{ 交通 (バス)} : \frac{\text{自動車運送事業経常費用－長期前受金戻入－(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)}}{\text{自動車運送事業 (乗合+貸切) 年間走行Km}}$$

$$d \text{ ガス} : \frac{\text{経常費用－長期前受金戻入－(受託工事費+附帯事業費+材料及び不用品売却原価)}}{\text{販売量}}$$

$$e \text{ 下水道} : \frac{\text{汚水処理費}}{\text{有収水量}}$$

(汚水処理原価)

(法非適用企業)

$$(31) \text{ 赤字比率}(\%) = \frac{\text{実質赤字額}}{\text{営業収益－受託工事収益}} \times 100$$

$$(32) \text{ 収益の収支比率}(\%) = \frac{\text{総収益}}{\text{総費用+地方債償還金}} \times 100$$